

埼玉県立本庄高等学校 **特進クラス**

「**活力ある進学校**」の更なる**進化**を目指して

第一志望は譲らない！ ～進路実績の着実な向上～

特進クラスでかがやく！ ～ピタテ！留学ジャパン・全国高等学校総合文化祭などでの活躍～

<第1期生～第3期生の大学合格一覧>

【国立大学】	東北大学	筑波大学	東京学芸大学	電気通信大学	
	埼玉大学	群馬大学	茨城大学	富山大学	徳島大学
	大分大学	北見工業大学			
【公立大学】	埼玉県立大学	高崎経済大学	前橋工科大学	群馬県立女子大学	
【私立大学】	早稲田大学	上智大学	東京理科大学	明治大学	青山学院大学
	中央大学	法政大学	学習院大学	芝浦工業大学	成蹊大学
	獨協大学	日本大学	ほか		

【特進クラスの目標】

- ・進路実現に向け、高い目標を設定しチャレンジする。
- ・一般受験で、国公立・難関私大に合格できる力をつける。

【特進クラスの高い目標をサポートする学習環境】

- 土曜スーパー講義
- 学習合宿
- 進学補講
- 模擬試験
- 特進集会
- 二者面談
- 特別課題
- 特進保護者会

【本庄高等学校特進クラスが大切にしていること】

○ 高い目標をサポートする学習環境

本庄高等学校の特進クラスは、難関大学への進学を希望する生徒が、学力を伸ばすのに適した学習環境を提供します。春と夏に行われる特進学習合宿(1年次・2年次)や、特進対象の進学補講、予備校講師による土曜スーパー講義などはその一例です。また、特進集会や特進保護者会など、意識向上のための行事を設けています。特進クラスの担任は、模擬試験の後等、機会をとらえて生徒との二者面談を行うなど、生徒の学力向上に向けたきめ細やかな対応を心掛けています。学級担任だけでなく、様々な教職員が、特進生徒に関わり進路実現を支援します。

○ 「特進クラス＝勉強部」という意識

「進学に向け、学習に力を入れて高校生活を送りたい」「特進クラスの中で学びたい」と願う生徒が、合格発表後に自ら希望して入るクラスです。切磋琢磨するため志願して入るという点で、特進クラスは、部活動に似ています。「勉強部という意識を大切にしよう!」とは、特進生徒にしばしばなされる呼びかけですが、「自分で選んだ道なのだから、目標の達成に向けて、日々、心を込めて、学習に取り組もう」ということです。

○ 高い目標を目指す学習の基本

本庄高等学校の特進クラスでは、何よりも日々の授業を大切にすることを、生徒に指導しています。一般クラスよりもやや進度が速いことが多いですが、丁寧な予習復習を通じ学習内容をしっかり定着させることを重視しています。また「時を守り、場を清め、礼を尽くす」という言葉に表れているような、時間厳守や、挨拶・礼儀、清掃などを自然に行えることが、落ち着いて学習に向かうためには必要です。加えて、特進クラスでは、生徒に自ら考えて学ぼうとする意欲を求めます。一から十まで全て指示されなくても、自主的に学ぼうとする姿勢が大切です。

○ 生徒同士の教えあいと、深い結びつき

特進クラスでは、生徒同士の教えあい・学びあいを奨励しています。互いに切磋琢磨しつつ、教えあうことで、自分たちで主体的に学ぶ態度が身につきます。また得意科目の異なる級友たちと学びあうことは、互いの長所を生かし、多様な個性を認め合い支え合うことにつながります。入学時に特進クラスに入った生徒は、3年間特進クラスで過ごし、様々な分野に進む級友との絆を深めます。

○ 本庄高等学校の特色を生かして

本庄高等学校は、『活力ある進学校～個性を伸ばし、世界にはばたくリーダーの育成～』を目標として掲げています。特進クラスの生徒の多くは、学習への取り組みと平行して、部活動をはじめ、文化祭や体育祭などの学校行事にも積極的に参加し、活発に活動しています。国際交流活動・地域でのボランティア活動への参加や、自然科学研究への取り組みや、それらの発表など、自ら進んで新しい挑戦を行う生徒も現れ始めました。周囲の人々と協力しながら、様々な活動に取り組む中で、社会や自分の課題を見つけ、自分の進路を切り拓いていく逞しさ、すなわち将来のリーダーとしての資質が育まれています。

【特進クラスの取り組み】

1. 土曜スーパー講義

予備校の講師による大学入試に直結する講義を、隔週の土曜日、及び夏季休業中に実施します。1年次生は英語と数学を、2年次生は英語と国語か、英語と数学を必須で受講します。3年次生は希望者が国語、数学、英語の講座を自分で選択します。

2. 学習合宿

夏季休業中には1・2年次生合同で、学年末休業中には1年次生のみで、いずれも2泊3日の校外合宿が行われます。目的は、進路に向けた高い志を醸成することと、進路実現に向けた学習態度を育成することです。大学や研究機関の見学、講義や補習、学習法や教え合い、自学自習などが主な活動です。

3. 進学補講

1・2年次生は、夏季休業中に設定される補講に必ず参加します。

4. 模擬試験

学校で全員が受ける模擬試験の他に、指定された模擬試験を必須で受験します。

5. 特進集会

特進クラスの3年次生、2年次生、1年次生との合同の集会が行われ、縦の連携を深めることができます。先輩からも多くを学びます。

6. 二者面談

担当教員との二者面談を通じて、日々の学習や進路などについて相談することができます。

7. 特別課題

特進クラスには特別に課される課題があります。

8. 特進保護者会

三者面談とは別に、特進クラスの保護者の集まりがあります。また、希望者には担任との個別面談もあります。

【特進クラスの生徒に求める学習習慣】

- ア 授業時の集中と、そのための予習復習の励行とノートテイキング
- イ 提出物の徹底と、そのための学習量の確保とスタディスキル
- ウ 部活動との両立と、そのためのタイムマネジメント
- エ 定期考査と模試の活用と、そのためのスタディプラン

●生徒の声～特進クラスの魅力や強み～●

(第5期生：平成29年度入学生)

■特進クラスは、その名の通り、国公立大学・難関私立大学への進学を目指す人が多く、向上意識の高い人が多く集まります。高1から目標とする大学を決めて、それに向かって真剣に勉強しています。そのための学習環境が充実していますが、それだけではありません。自分一人で伸びるのには限界がありますが、特進クラスは3年間共に高め合う仲間がいます！お互いに助け合い、学び合うという『ピアサポート』も、僕には大きな強みになっています。

夏季・冬季講習はもちろん、スーパー講義や勉強合宿など特進クラスならではの学習体制も魅力です！夏休み中に2泊3日で勉強合宿に行ってきました。筑波大学やJAXAにも行ってモチベーションが上がったところで、3日間しっかり勉強できました！この調子で志望大学目指して全力で頑張ります！受験生の皆さん、気合を入れて頑張ってください、自分自身のために！

■特進クラスでは、ほとんどの人が大学進学を考えているので、集中して受験勉強ができるというメリットがあります。先生方も進路のことについて色々と話してくれます。勉強する雰囲気は、他の進学校に負けていないと思います！

また、3年間同じクラスで、団結力も強くクラスの仲が良いという点も魅力です！毎日学校に行くのが楽しみになります。高校時代は、『本当の友達』ができる大切な時期だと思います。楽しいこともつらいことも一緒に乗り越えられるからこそ得られる『本当の友達』と、思い出をたくさん作りましょう！

■僕が本庄高校を受験しようと思ったのは、中学校2年生の冬のことでした。中学校の先生に勧められて、ホームページで調べたり、学校説明会に来たり、色々なことを考え、『特進クラスに入って国立大学を目指す！』と自分で決めました。

期待していた通り、特進クラスには国公立大学・難関大学への進学を目指す人が多く、向上心を持った意識の高い人が多いです。高1から目標とする大学を決めて、それに向かってみんな真剣に勉強しています。そんな頑張っている友達から、僕はとてもいい刺激を受けています。特進クラスは勉強に対してエネルギーで、分からないところはすぐに先生に聞ける雰囲気、勉強するにはとても整った環境だと思います。高校生の時期は、将来への不安やいろいろな悩みがあり、考えることが多い時期ですが、『自分』を信じて、真っすぐ歩んだら、きっと納得できる高校生活を送れると思います。本庄高校は倍率も高く難関かもしれませんが、頑張ってください！

特進クラスで切磋琢磨しながらがんばりましょう・・・お待ちしております！

■特進クラスでは、土曜日には定期的に特進クラス限定で、英語と数学のスーパー講義を受けることができます。1コマ90分と最初は長く感じますが、新しい発見が多く、とても充実した時間を得ることができます。特進合宿では先生にたくさん質問ができるので、自分の分からないところを克服する良い機会になります。とても有意義な勉強合宿でした！他のクラスよりも休日は少ないですが、その分、勉強することで志望大学合格への努力が実を結ぶことを信じて、みんな頑張っています！

柏樹祭（体育祭・文化祭）などの学校行事では、団結力は素晴らしく、特進クラスに入って良かったと思います！みんなで支え合って、まとまりがあって、高め合えるのが『特進クラス』です。是非、本庄高校の特進クラスで、自分を高めることにチャレンジしてみたいかがですか・・・。

年次は違いますが、一緒に頑張りましょう☆